

3市共同可燃ごみ処理施設の本格稼働に向けた
3市連携の「特集記事」の掲載について（提案）

3市市民会議・情報グループ

1. 「特集記事」掲載の提案理由

3市共同可燃ごみ処理施設は来年4月本格稼働の予定であるが、直近数年間の各市及び浅川清流環境組合の本件に関する情報発信の状況は別紙の通りである。各市によって情報量・情報内容に相当バラツキがあり、市民の理解度・関心度も地域によって温度差があると思われる。

また、各情報も進捗状況に応じて発信されており、全体像（施設の内容、運営体制等）が把握しにくい状況になっている。

このプロジェクトを成功させるためには、市民の十分な理解と更なるごみ減量の取り組みが不可欠であり、市民会議として、稼働前に3市が連携した「特集記事」を市報等全世帯配布の媒体に掲載し、3市市民に周知することを提案したい。

2. 「特集記事」掲載の提案内容

(1) 目的

- ① 3市が連携した「特集記事」を掲載することにより、新施設建設の目的・施設概要・運営体制・施設周辺住民への感謝等について3市市民の認識を共有化する。
- ② 本格稼働を契機に、3市共通の目的として更なるごみ減量を推進する機運を盛り上げる。

(2) 方法

- ① 各市のごみ情報紙（市により名称異なる*）の1ページ（A3の場合）に可燃ごみ処理施設の特集記事を載せる。市報にも可燃ごみ処理施設稼働のリード記事を載せて関心を引き、詳細をごみ情報紙に載せれば更に良い。

*日野市：エコー 国分寺市：ごみ減量リサイクルだより

小金井市：ごみ減量・リサイクル特集

- ② 各市のHP（トップページ）にも要約版を載せ、ごみ分別アプリでも新施設の稼働情報を発信する等幅広く広報し、市民への周知徹底を図る。

(3) 時期

令和2年3月15日

各市の市報折込みの「ごみ情報紙」の発行日。但し、日野市は5月15日発行なので、発行日を早めるか増刊号を発行する必要がある。

(注) 原稿の締切が発行日の1ヶ月位前なので、1月末までには全て固める必要がある。(2月予定の全体会では間に合わない。)

(4) 内容

紙面構成は各市独自で行うが、掲載内容はほぼ3市共通とし統一感のあるものとする。(②~④、⑦は各市共通とする)

- ① 広域化の目的
- ② 施設の概要と運営体制 (図解して分かりやすく)
- ③ 環境対策、交通量増加対策 等
- ④ 見学・研修等の受入れ体制
- ⑤ 稼働後の可燃ごみの分別ルールと減量の推進
- ⑥ 市長メッセージ (広域化の意義、周辺住民への感謝、更なるごみ減量 等)
3市の連携をアピールするため、各紙に3市長のメッセージを同時掲載することを提案する。
- ⑦ 市民会議のメッセージ (周辺住民への感謝、3市市民の責任=更なるごみ減量、市民会議の役割 等)

3. 市民会議メッセージの作成について

情報グループが案を作成し、メールにて全委員の意見を聞いたうえで来年1月末をメドに成案を得る。

以上